



2022年9月12日

各位

会社名 株式会社丸千代山岡家
代表者名 代表取締役社長 一由 聡
(東証スタンダード・コード3399)
問合せ先 取締役財務経理部長 太田 真介
TEL 029-896-5800

2023年1月期第2四半期業績予想との差異及び特別利益発生に関するお知らせ

2022年3月16日付「2022年1月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました、2023年1月期第2四半期(2022年2月1日～2022年7月31日)業績予想との差異が発生いたしました。また、2023年1月期第2四半期決算(2022年5月1日～2022年7月31日)において、下記のとおり特別利益が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年1月期業績予想との差異

第2四半期累計期間(2022年2月1日～2022年7月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,665	79	91	46	18.83
実績値(B)	7,997	11	27	92	37.82
増減額(B) - (A)	332	△68	△64	46	—
増減率(%)	4.3	△86.1	△70.3	100.0	—
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期第2四半期)	7,204	86	101	198	81.36

2. 差異発生理由

2023年1月期第2四半期の売上高につきましては、2月から3月のまん延防止等重点措置が適用されたことによる時間短縮営業の影響が見られましたが、解除以降は行動抑制の反動や経済活動正常化の流れにより計画を上回りました。しかしながら、食材価格の高騰による原価上昇、人件費やエネルギーコストの大幅な上昇などから、経常利益は27百万円となりました。また、特別利益において、以下記載の通り2023年1月期第2四半期累計期間で助成金収入を127百万円計上したことなどから、四半期純利益は92百万円となりました。

3. 特別利益の発生とその内容

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴い、国及び地方自治体からの要請に従い、店舗休業及び時間短縮営業を実施したことにより交付された助成金等107百万円を「助成金収入」として特別利益に計上いたしました。なお、2023年1月期第2四半期累計期間の助成金収入は127百万円となりました。

4. 業績に与える影響

本日発表の2023年1月期第2四半期決算短信に記載のとおり、現時点で業績予想の変更はありませんが、今後の業績に伴い影響が見込まれる場合には、必要に応じて速やかに情報開示いたします。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上